

ジャンル	子ども・教育	日本語学習	医療・福祉	労働	災害対策	意識啓発 地域づくり	推進体制の 整備	その他
事業名	外国人住民サポート事業2011 ～学習支援を中心に(リソースルームの開設と進路ガイダンス)～							
団体名	公益財団法人 滋賀県国際協会							

***** 事業のポイント *****

- ・外国にルーツを持つ子どもへの学習支援に携わる人びとへ、滋賀県独自に持つ情報や教材および全国でも活用されている教材や支援サイト等の情報を提供できる場ができた。また、サイトで随時情報提供ができ、現場で活用してもらえるようになった。
- ・行政・教育委員会・市町国際交流協会やその他NPO団体との連携で進路ガイダンスを開催することにより、外国にルーツを持つ子どもと保護者への進路に関する情報をより広く、細やかに提供でき、連携してサポートできる体制ができてきた。

助成年度	平成 23 年度地域国際化施策支援特別対策事業	事業総額	1,200 千円
------	-------------------------	------	----------

事業の内容、成果等

●事業実施の背景

県内の日本語指導が必要な児童生徒は 2010 年 9 月 1 日現在で小学校92校、中学校39校に836人在籍しており、国籍も多様になってきている。これらの多くの児童生徒は定住化傾向にあり、彼らは今後、地域を担う大切な人材である。

しかし、現実には日常会話ができる児童生徒でも学習言語の習得は困難な場合が多く、また言語におけるダブルリミテッドの課題も深刻な状況である。今後、彼らが希望する進路を選択し、自らの夢に向かって邁進できる環境を整備するためには子育てや学習支援の充実が重要である。

彼らをサポートする担当教諭や日本語指導者等は、確立された指導方法が存在する訳ではないため、独自で教材を探したり、学習指導法を探ったりすることも少なくない。教える人や住んでいる地域により、格差が生じないように子どもたちが学習や進学が出来るよう、県域での情報提供やサポート体制の構築が課題となっていた。

●事業の目的

彼らをサポートする学習支援者のスキルアップや情報交換の場として学習支援体制の一層の充実を図るため、外国にルーツを持つ子どもへの日本語学習リソースルームを開設し、学習支援の環境整備を行った。

また、高校への進学をさらに促進するため、8年目となる県域を対象とした多言語の進路ガイダンスと平行して、県及び各市町教育委員会と連携した進路ガイダンスを各地で開催した。

●事業内容

(1)日本語学習リソースコーナーの開設と学習支援方法の意見交換会の開催(写真1)

■リソースルームの先進地訪問の実施

リソースルームの参考とするために、先進地訪問を実施した。

【訪問者】日本語指導者、加配教員、市町協会職員等 11名

【実施日】2011年7月26日(火)

【訪問先】愛知県岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室

■「外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座」の開催

学習支援方法のモデル講師を招き、講座を開催し、その講座に集まった日本語指導者等との意見交換を行う場を設けた。

【日 時】2011年8月18日(木)(大津市)【受講者】23名

【講 師】愛知県岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室

写真1



主任 村瀬 英昭 氏

(2) 日本語リソースコーナーおよび日本語支援サイトの開設(写真2)

当協会事務所に隣接する国際情報サロンの一角を日本語リソースコーナーとし、就学ガイドブックや滋賀県独自の教材や参考資料、全国の役立つ教材や関連図書などを整備し、県内の日本語指導に携わる方々の拠点とした。また、遠方で来所できない方のために、HP上に「日本語学習支援サイト」を作成し、ブックリストを公開している。

更に、外国にルーツを持つ子どもの将来像のモデルとするほか、国際教育でも活用してもらえるよう、情報紙等で紹介してきた県内で活躍する外国人の紹介と、世界の文化に理解を深める「教えて、世界のこと」を一覧サイトとしてまとめた。

また、メーリングリスト(ML)で関係者のネットワークづくりと研修会や教材情報などを提供した。



写真2

3. 多言語の進路ガイダンスの開催 (写真3)

協力: 県内各市町および教育委員会、各市町国際交流協会、団体等

後援: 滋賀県教育委員会、滋賀県

内容: ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語での通訳付きによる進路に関する情報提供を行った。



■第1回 日時・場所; 2011年8月8日(日)(近江八幡市)

参加人数: 45人(外国人児童生徒と保護者等)

■第2回 日時・場所; 2011年11月20日(日)(長浜市)

参加人数: 29人(外国人児童生徒と保護者等)

共催: 長浜市教育委員会

■その他、湖南省教育委員会が主催する進路生徒交流会に参加(50名の外国人中学生対象)



写真3

●事業の成果

外国にルーツを持つ子どもへの学習支援や日本語指導に関わる関係者が集まり、指導方法や教材に関する情報を共有する機会を持つことは、彼らのモチベーションを保つ上でも、能力向上等にも貢献できたと思われる。また、これらの方々へ、MLに加入していただき、継続的に情報を提供し、共有することは、学校内でも孤立しがちな加配教員や日本語指導者などにとって、大変役立つとの感想をいただいた。

今回、これまで蓄積した情報等を整理し、リソースコーナーとして整備できたことで、今後、より効率的・効果的に有益な情報発信ができることとなった。なお、指導者にとって、何かに困れば立ち寄れる場所が作れたことで、今後、拠点としての役割を果たしやすくなった。また、滋賀県教育委員会と連携し、県教育委員会主催の外国人児童生徒担当者会議等においても、この学習支援サイトを随時案内し、ニーズのある人に情報が届くよう努力している。実際に活用くださった方からは大変参考になったとの感想を複数いただいた。今後は、さらに情報の更新に努めていきたい。

進路ガイダンスについては、今回は、県域での開催に加え、市教育委員会と共催した地域単位での開催が実現し、よりきめ細やかな情報提供ができ、進路支援につながった。特に、次年度以降も継続して共催できることとなり、大きな効果があった。また、湖南省教育委員会主催の進路生徒交流会に参加し、進路ガイダンス資料を参加生徒全員に配布できるという形で協力できた。外国語の進路資料については、実際に保護者からのニーズに応えられたとの意見をいただき、関連機関からも求められるなど、昨年より情報提供がより充実できたと思われる。県教育委員会、市町・市町教育委員会、地域の国際交流協会と連携し、このガイダンスを開催するというネットワークが構築できたことは、外国にルーツを持つ子どもの課題を地域や県と共有化でき、また継続的なガイダンスの実施の見込みが得られた点も大きな成果である。